

THE NEW VALUE FRONTIER

KYOCERA

京セラの高信頼性コネクタ

NEW

アルミ電線対応コネクタ
新登場

アフターパーツ用分岐コネクタ
9215 Series

NEW

高耐熱対応
フローティング機構付
0.635mmピッチ 基板対基板コネクタ
5690 Series

NEW

高速伝送対応
FPC/FPCコネクタ
6806 Series

NEW

高耐熱対応
0.5mmピッチ
FPC/FPCコネクタ
6288 Series

V-by-One®とCalDriConは、
サインエレクトロニクス株式会社の登録商標です

京セラコネクタプロダクツ株式会社 www.kyocera-connector.com/jp

本社/226-8512 横浜市緑区中山町402-1 ■国内営業部 Tel.045-611-1010 ■海外営業部 Tel.045-611-1017
■大阪営業所/Tel.06-6315-0513代表 ■名古屋営業所/Tel.052-232-6441代表 ■大宮営業所/Tel.048-648-1601代表
■立川営業所/Tel.042-528-6341代表 ■松本営業所/Tel.0263-33-1361代表

HOSIDEN

Dynamic Evolution

新しい世界を
ひとつなぎ

PVコネクタ

φ3.5 防水小形ジャック

車載用高速信号コネクタ

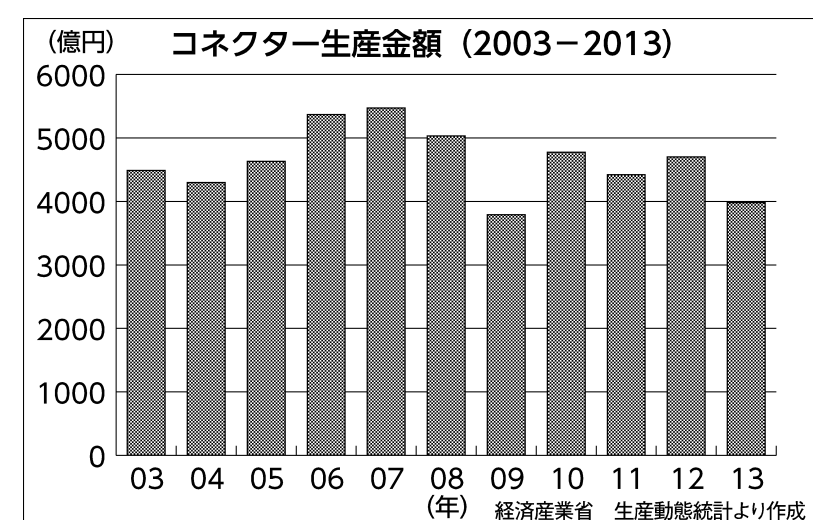
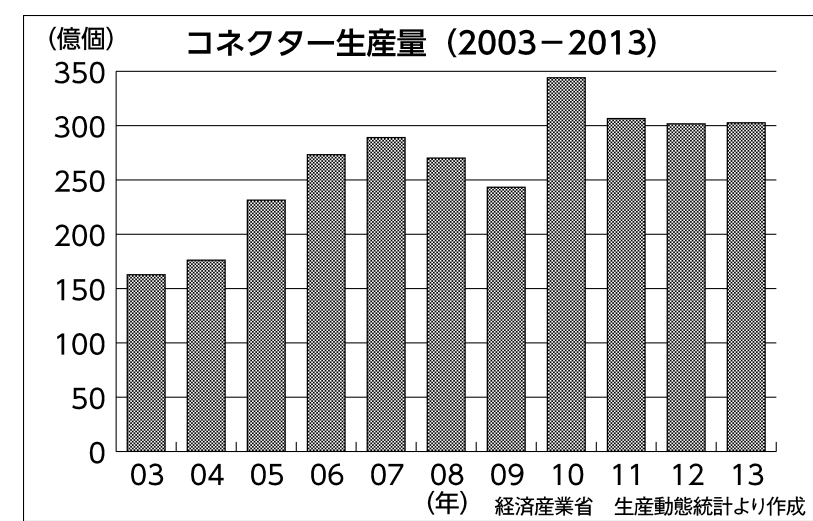
HDMIタイプD
コネクタ

Micro-USB タイプ
急速充電用コネクタ

MHL プラグケーブル

ホシデン株式会社 本社 〒581-0071 大阪府八尾市北久宝寺1-4-33 TEL. 072-993-1010
東京支社 〒221-0014 横浜市神奈川区入江1-14-25 TEL. 045-423-2231 <http://www.hosiden.co.jp>

つなぐ・つたえる コネクター



2014年3月に発表された生産動態統計の14年1月分確報によれば、1月のコネクター全体の生産個数の実績は前年同月比10・3%増の19億996万個、生産金額の実績は同12・6%減の279億6200万円となっている。コネクター市場で最も大きいボリュームを持つプリント基板用コネクターは同5・2%減の11億3949万個、生産金額は同16・3%減の176億7900万円だった。14年2月の生産

一方、電子情報技術産業協会(JEITA)が発表した「電子部品クロール出統計」で見ると、日系メーカーによるコネクターの国内外出荷は好調だ。12年度の累計は前年度比3%増の4731億円、また、13年4月から14年1月の累計では前年同期比12%増の4464億円となっている。

3月に発表された月別出荷金額では14年1月が前年同月比16%増の426億円、13年度は4月から10カ月連続で前年比増を達成している。スマートフォンやタブレット端末といったモバイル端末の普及、車載各種部品のエレクトロニクス化などによるコネクターの需要増が市場を牽引している。

また、コネクターの材料となる伸銅品の業界団体である日本伸銅協会が14年3月に平成26年度(14年度)の伸銅品需要動向を発表した。その中で、13年度需要見込みとして、自動車用端子コネクターと民生用コネクターを主な需要先とする黄銅系は国内外での自動車分野が好調で、年間を通して堅調に推移していたと分析、それが需要増に寄与し、前年度比4・6%増の10万6200トンを見込んでいる。

青銅板系は携帯電話、薄型テレビ、デジタルカメラなど、デジタル家電向けコネクターの需要増、自動車用コネクターの好調維持を挙げている。

(次ページに続く)

コネクターは接続されるケーブルの種類、基板の太さや本数、大きさ、形状、さらには使用環境や使用目的などに多くの種類が存在する。接続の組み合わせでは「電線と電線」「電線と回路基板」「回路基板と回路基板」の四つに大きく分けられることができる。

また、経済産業省生産動態統計ではコネクターを通信用同軸ケーブルなどの接続に利用する「同軸コネクター」、機器内の基板と基板、基板と電線などの接続に利用する「プリント基板用コネクター」、光ファイバーを利用した高速通信ネットワークで利用される「光コネクター」、サボヤセンサー、アクチュエーターなど、FA機器の接続に利用される「角形コネクター」と、その他のコネクターに分類されている。

2014年3月に発表された生産動態統計の14年1月分確報によれば、1月のコネクター全体の生産個数の実績は前年同月比10・3%増の19億996万個、生産金額の実績は同12・6%減の279億6200万円となっている。コネクター市場で最も大きいボリュームを持つプリント基板用コネクターは同5・2%減の11億3949万個、生産金額は同16・3%減の176億7900万円だった。14年2月の生産

また、コネクターの材料となる伸銅品の業界団体である日本伸銅協会が14年3月に平成26年度(14年度)の伸銅品需要動向を発表した。その中で、13年度需要見込みとして、自動車用端子コネクターと民生用コネクターを主な需要先とする黄銅系は国内外での自動車分野が好調で、年間を通して堅調に推移していたと分析、それが需要増に寄与し、前年度比4・6%増の10万6200トンを見込んでいる。

青銅板系は携帯電話、薄型テレビ、デジタルカメラなど、デジタル家電向けコネクターの需要増、自動車用コネクターの好調維持を挙げている。

(次ページに続く)

13年生産量は前年比増
302億6376万個

今年度コネクター市場
モバイル・車載用期待

機器同士や配線間を接続するために利用される電子部品の一つがコネクター。その最大の特徴は簡単に安全に繰り返し着脱できるということ。スマートフォンやタブレット端末(携帯型情報端末)向けから、デジタルカメラやデジタル家電、さらには電気自動車(EV)、ファクトリーオートメーション(FA)用産業機器、太陽光や風力発電システムなど、コネクターの利用範囲は拡大し続けている。

量速報値は前月比0・3%増の20億578億個、例年、2、3月は前月比で微増あるいは増加という傾向にあるため、14年3月についても同様の傾向になるだろう。

13年の生産量は前年比0・3%増の302億6376万個だったが、生産金額は同15・3%減の3980億円となった。過去10年の推移を見ていくと、生産量は10年がピークで344億2688万個、その後、11年が306億5397万個、12年が301億7411万個となっており、コネクターメーカー各社は市場に製品を安定的に供給しているといえる。

www.iriso.co.jp/

高速伝送。

ITSの進歩で実現近づく完全自動化。
そこにもイリソのコネクタテクノロジー。

「BtoB®」として商標登録されたイリソのボードツープードコネクタ。例えは高速伝送用インタフェース「V-by-One®HS」実装の可動タイプコネクタは、すでに今、国内外有力メーカーに採用されて世界中を走っています。一方のFFCコネクタは数々のトータルコスト低減を実現してきた勝利の旗。これからはイリソは環境に優しくグローバルに発信し続けます。

比類なきイリソのテクノロジー。
BtoB®コネクタのパイオニア。
実力と実績のFFCコネクタ。
柔軟にカスタムメイドにも対応。

IRISO

BtoB® TYPE FFC TYPE

10103 Series

V-by-One® HS 高速伝送に対応。
新開発の可動ソケット&プラグ。

0.5mmピッチ。

- 金属シェルによるEMC対策でノイズを防止。
- ソケット側はX-Y方向へ±0.5mm可動。
- 周波数帯域は600Mbps～3.75Gbpsと広範囲。
- インピーダンスマッチングは100Ω。

プラグ

ソケット

＜嵌合状態＞

＜部品構成図＞

ロック端子

信号端子

ハウジング

GND金具

11500 Series

新開発の高速伝送システム。
ノイズに強いシールド付FFCコネクタ。

0.5mmピッチ、24極。NON-ZIFタイプ。
FFC挿入と同時にロックがかかる“抜け防止構造”。

- 100Ωのインピーダンスマッチングで高速伝送を実現。
- 仮保持端子はボタンを押しこむことで容易に解除。
- 基板への装着作業の効率をアップさせるエンボス梱包。
- 外形は、幅15.9mm 奥行き6.85mm 高さ3.4mm。

*V-by-One®HS: サインエレクトロニクス社によって開発された高速伝送用インタフェース。当社はV-by-One®HSに関して同社とライセンス契約を締結しています。